



コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



ギター・ベースの川崎さん、清水さん、丹後谷さん(左から)



豊岡市婦人共励会回高ブロック総会での「うたごえひろば」



150回記念「うたごえ喫茶」(養父市)



「うたごえひろば」で一緒に歌う

但馬中に歌声を響かせ

出会う人々を元気にする元気人

豊岡の枠を飛び越え、但馬地域全体で、うたを通して出会いや交流を広げ、出会った人々まで元気にしてしまおう元気な男性を紹介します。

沖野芳郎さん(67歳)大磯町

うたを通じた出会いや交流

「さあ、みんなで一緒に歌わあで。聞いたとるだけだったからおもしろなからーな」と、その場にいるみんなも歌の輪に巻き込んでしまうのは、たじまのうたまつり実行委員会の代表を務め、また、フォークグループ「少年探偵団(またの名を『ちゃんぽんめん』)」と一緒に但馬中を駆け回る超多忙な沖野芳郎さん。

沖野さんは、郵便局に勤務しながら但馬勤労者音楽協議会(労音)に参加し、60〜70年代のフォークソングを中心に歌ってきました。この労音が、但馬中に音楽を通じての人のつながりを築きました。沖野さんが「ちゃんぽんめん」のメンバーと出会ったのもこの労音です。「この広がりのおかげで、新聞朝刊(毎週水曜日)に掲載している『たじまのうた』の資料がほとんど寄せられるようになったんだで」とうれしそうに話します。

うたごえひろば(喫茶)を開催

そうした中、平成7年に「うたごえひろば(喫茶)」をスタートしました。「声が掛かればどこでも飛んで行くで」と言

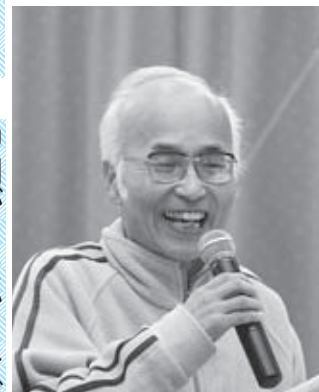
うだけあり、ひろばは月に2〜3回、老人ホームから公民館、保育園、喫茶店など、あらゆるところから依頼が来ます。まさに「芸能人並み!!」のスケジュールをこなします。

「たじまのうたまつり

実行委員会」結成

これらの活動を原点到、平成16年4月「たじまのうたまつり実行委員会」を結成。この会は、会員約230人という大所帯ながら、会費や規約、定例会は一切なし。「会費や規約があつたら、縛られてやりにくからーが。できるときにできる者が集まったらええ」と、いいかげんなやり方が「好い加減」だと話す沖野さん。これが長続きの秘訣だそうです。

何かイベントを考へることに実行委員会を立ち上げ、できる者が集まり自分も楽しむ。「このとり音楽祭」や、但馬の鉾山と人々の暮らしをテーマにした「鉾山の道音楽祭」、「うたごえ列車」などもこうして生まれました。特に「うたごえ列車」は、次の開催の催促があるほど大人気です。



▲たじまのうたまつり実行委員会の代表の沖野さん。趣味は歌うこと

仲間がいたから今がある

「うたごえひろば(喫茶)」を始めてはや15年。開催は150回を超えました。「一緒にやってくれる仲間がおるでできるんだがな。ありがたいで」。三度の食事よりうたが好きで沖野さんは、「元気があろうちに自分の好きなことに集中したい」と郵便局を退職し、今の活動に専念。「いろんなところで歌いながら元気をもらつとるんだ」と話します。

そんな健康が取りえの沖野さんも、昨年10月、体調を崩して入院。しばらく歌えず寂しかったことかと思いきや「いやいや、入院中も廊下や病室で歌つとったあで」と。やはり沖野さんにとって「歌うこと」は「生きること」そのものなのです。きつと、沖野さんのうたごえは、聞いた人々の心に永遠に響き続けることでしょう。

広報マンがやってきた!

幼稚園編

4

資母幼稚園

(但東)

〈園児5人〉



今年もにぎわった「たんと
うチューリップまつり」。そ
の会場近くに位置する資母幼
稚園は、山々に囲まれた自然
豊かな場所です。

4月12日、この日から園で
の生活が始まりましたので、
その様子をのぞいてみました。

少し緊張...でも、しっかり!

「連絡帳を出すところはこ
こです」「こ
こでお帳面
にシールを張り
ましょう」など、
先生の説明
をしっかりと
聞く園児た
ち。靴や雨傘、
荷物など、自分で
指定の場所にきち
んと置くことが
でき、スタートは
上々です。



私たちの園舎は

どんなところ?

先生の部屋や給食を食べる
部屋、走り回っても大丈夫な
部屋や、触ってはいけない物
なども先生から教えてもらい
ながら、園舎の中を探検しま
した。

トイレの
使い方もし
っかりと学
習。上履き
の置き方や、電気の消し忘れ
をしないことなど、覚えるこ
とはたくさんあります。



自分のことは自分でするよ

身体測定の間です。園児
たちは、自分で脱
いだ服を頑張っ
て畳みました。先生
の力は借りな
いぞ!



牛乳を飲んで学びます!

ここで少し休憩です。先生
と一緒に、おいしい牛乳を飲
みました。もちろん、飲む前
にしっかりと手を洗います。
しかし、飲んだ
後も大事で
す。牛乳パ
ックもしつ
かり洗って片付
けました。



「先生、できた!!」

次は、好きな遊び
を楽しみます。まま
ごとをしたり、ブロックで
いろんな形を作ったり...。
園児たちはアドバイス
をし合いながら、コ
ミュニケーションを
深めていきました。



初めての給食、うれしいな!

お昼になると、初めての給
食です。慣れる
までは先生が準
備してくれま
す。が、いずれは自
分たちで...。好き
嫌いなくたくさん
食べて、早く大きくなるぞ!



笑顔の輪

地域の方々に喜ばれる活動を!

劇団「やさえ合っ一座」(豊岡)

「はよう、ご飯食べさせて
くれ〜な〜」「たった今、食
べたところやんか。もう忘れ
たんか」と、舞台では、認知
症で悩む家族の姿が元気に演
じられていきます。

「やさえあう一座」は、県立

但馬文教府の兵庫県地域高齢
者大学地域活動実践講座「み
てやま学園大学院」の卒業生
7人でつくる劇団です。「大学
院で学んだことを、地域に帰
ってからも生かしたい」とい
う思いから、同大学院の福祉グ
ループで研究していたメンバ
ーが平成18年11月に結成。その
後、「認知症」をテーマに、市
内の老人会などを対象に寸劇
や認知症介護の講話などを通
じて、認

知症に対
する正し
い理解を
呼び掛け
ています。
最近で
は、「笑う
ことも大



▲元気に演じる団員たち



▲「どじょうすくい」もお見事!

切」と、メ
ンバー全員
で鳥根県安
来市へ「ど
じょうすく
い」を学び
に行き、舞
台で披露し
ています。

「みな
が支え合っ
ていくこと
が一番大切
」と話すの
は、座長の
岡本博明さ
ん(立野町)
。舞台で
は非協力的
な夫の役を
演じます。
ほかの団員
も、認知症
の母やその
対応に悩む
妻、ナレー
ターなど、
見事に役を
担当するた
め、1人でも
欠けると成
り立ちませ
ん。

「このメン
バーで、今
の内容をもっ
と掘り下げ
て、もっと
と分かりや
すいものを
目指してい
きたい」と
話す岡本さ
ん。声掛け
れば、出掛
けて行っ
て、皆さん
に喜ばれる
活動を続け
ていきたい
とのこと。
公演依頼は
岡本さんま
で。

☎ 23-10588